



2026年4月7日

フィリップ モリス ジャパン合同会社

フィリップ モリス ジャパン 藤沢市の環境美化の推進に向け
藤沢駅北口に加熱式たばこ・紙巻たばこ併設型喫煙所を寄贈

－ 2026年3月23日に藤沢市より感謝状を授与 －



(写真左から)フィリップ モリス ジャパン合同会社 環境開発部 部長 鶴岡斉、藤沢市長 鈴木恒夫

フィリップ モリス ジャパン合同会社(本社:東京都千代田区、社長:シェリー・ゴー、以下「PMJ」)は、藤沢市が推進する公共空間の環境美化の取組みに協力し、藤沢駅北口エリアに、加熱式たばこ専用スペースと紙巻たばこ専用スペースを分離した併設型の喫煙所を寄贈しました。本施設は 2026年2月24日より供用を開始しています。

藤沢駅北口は県内有数の利用者数を誇る主要駅で、これまで駅前広場(市役所方面の大通り沿い)に近い既存喫煙スペース付近では、歩行者から煙・においに関する苦情が寄せられていました。こうした背景を踏まえ、紙巻たばこ・加熱式たばこのスペースを区切り、駅前への影響を抑えるレイアウトで設置することで、より安全で快適な環境の実現を図っています。

2026年3月23日には、藤沢市役所において感謝状贈呈式が開催され、鈴木恒夫藤沢市長より当社に感謝状が授与されました。

【藤沢市長 鈴木 恒夫 氏 コメント】

人口 40 万人を超える藤沢市の環境整備にご協力いただき、心より感謝申し上げます。特に JR・小田急線の乗換利用が多い藤沢駅北口において、加熱式たばこ紙巻たばこの利用空間を分けた形で喫煙所を整備いただいたことは、多くの利用者にとって快適で安全な環境づくりにつながるものと考えています。

また、今回のような喫煙環境の整備は、利用者のマナー向上にも寄与するものと期待しています。

今後も PMJ と連携し、藤沢市のさらなるマナー向上と安全で快適な公共空間づくりに取り組んでまいりたいと考えています。

【フィリップ モリス ジャパン合同会社 環境開発部 部長 鶴岡 齊 コメント】

PMJ は、煙のない社会の実現を目指し、20 歳以上の喫煙者や加熱式たばこ利用者と非喫煙者が共存できる環境づくりに取り組んでいます。その一環として、民間企業や地方自治体と協力しながら、全国 150 か所以上で環境整備の支援を行ってまいりました。

今回、藤沢市の環境美化の推進に際し、加熱式たばこ紙巻たばこを分けて利用できる併設型の喫煙所を寄贈できましたことを、大変光栄に思います。紙巻たばこ加熱式たばこの使用スペースを区切ることで、快適で安全な駅前環境の創出に少しでも寄与できればと願っております。

PMJ は、製品・サービスの提供にとどまらず、公共空間づくりにおける技術革新と地域目線の両立を重視し、日本社会に貢献していくことをめざしています。今回の取り組みも、そうした方針に基づくものです。



加熱式たばこ・紙巻たばこ併設型喫煙所 外観



加熱式たばこ専用スペース

■ 藤沢駅北口 加熱式たばこ・紙巻たばこ併設型喫煙所の概要

- 場所: 藤沢駅北口 駅前広場(藤沢市役所方面の大通り沿い)
- 構造:
 - 紙巻たばこ専用エリア:パーティション型(非密閉)
 - 加熱式たばこ専用エリア:パーティション型(非密閉)※両エリアを分離併設(導線を分けて相互の影響を抑制)
- 面積: 37 m² (敷地面積: 44 m²)
- 供用開始日: 2026 年 2 月 24 日

PMIの企業ビジョン:「煙のない社会」のグローバルリーダー

フィリップ モリス インターナショナル(以下「PMI」)は、「煙のない社会」の実現を目指し、長期的に紙巻たばこやニコチン以外の製品を含むポートフォリオの進化に取り組む国際的消費財企業です。現在の製品ポートフォリオは、主に紙巻たばこおよび煙の出ないたばこ又はニコチン含有製品(以下「煙の出ない製品」)で構成されています。2025年12月31日時点で、PMIの煙の出ない製品は、世界で106市場における主要都市ないし全国規模で展開しており、全世界で推定4,350万人もの成人喫煙者(日本においては20歳以上、以下同)がPMIの煙の出ない製品を使用していると推定されています。煙の出ない製品に関連する事業は、PMIの2025年通年の純売上上の約41.5%を占めています。

PMIは2008年以降、160億米ドルを投資し、紙巻たばこの販売終了を目指して、喫煙を続ける成人喫煙者のために革新的な煙の出ない製品の開発、科学的実証、市販化を行っています。これには、特に前臨床システム毒性学、臨床・行動研究、市販後調査の分野における世界トップクラスの科学的評価能力の構築が含まれます。科学的根拠に基づく厳格な審査の結果、米国食品医薬品局(FDA)は、スウェディッシュマツチ社の製品 General snus および経口ニコチンパウチ ZYN、ならびに PMI 社の一部の IQOS デバイスとたばこスティックの販売を許可しました。これは、それぞれのカテゴリーで初めての許可となります。また、一部 IQOS デバイスとたばこスティック、ならびに General snus は、初めてのリスク修飾(軽減)たばこ製品(MRTP: Modified Risk Tobacco Products)として FDA の許可を取得しました。ライフ・サイエンス分野における強固な基盤と重要な専門性を持つ PMI は、ウェルネス分野への拡大を長期的な目標としており、シームレスな健康体験の提供を通じて生活をより豊かにすることを目指しています。

詳細は、PMI のウェブサイト(www.pmi.com)および PMI サイエンス(www.pmiscience.com)をご覧ください。

「煙のない社会」を目指す PMJ について

フィリップ モリス ジャパン(PMJ)は、PMI の日本における子会社です。日本で販売される PMI 製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。PMJは1985年に日本で営業を開始して以来、事業拡大と成長を続け、全国に約1,600人の従業員を擁し、日本のたばこ市場で43%のシェア(2025年通期決算)を有する、加熱式たばこを中心に市場を牽引する企業です。PMJはPMIが掲げる「煙のない社会」を目指す取り組みをここ日本で推進しています。PMJの「煙のない社会」の実現を目指し、加熱式たばこのみ利用可能な「煙のない」施設や観光地などを全国で広げる取り組みに関して詳しくはPMJウェブサイトをご覧ください: <https://www.pmi.com/markets/japan/ja/home>